



東京2020オリンピック・パラリンピック
交流相手国

ヨルダンが どんな国か調べてみた



東京2020オリンピック・パラリンピックまでいよいよ半年を切ったね。全国でさまざまな準備が進められている中で、能代市はこの大会をきっかけに、ヨルダンという国と仲良くなったんだ。ヨルダンについてみんなにもっと知ってもらうため、こどものしろではヨルダンの学校の様子などを調査してみたよ！

中東の観光大国 ヨルダン

ヨルダンは中東にある国で、イスラエル、シリア、イラク、サウジアラビアと国境を接しているんだ。人口は約1000万人。国土は8・9万平方キロメートルで北海道と同じくらいの面積がある国だよ。国土の8割は砂漠が広がっていて、1年を通して乾燥してい

るんだって。
ヨルダンは観光業がとても盛んで、世界中から観光客が訪れているんだよ。
地球上で最も低い場所（海拔マインナス400m）にある死海や、映画の舞台にもなった世界遺産のペトラ遺跡、イエス洗礼の地とされるワーディ・ハツラール、モーセ終焉の地とされるネボ山など、見どころがたくさんあるんだ。



世界遺産 ペトラ遺跡



こどものしろ

【広報のしろ特別編集】お子さんと一緒にご覧ください

『こどものしろ』は能代の未来を切り開く子どもたちに向けた広報です。もっと、ずっと、能代を愛して欲しいから、能代の色んなことをお知らせしていきます。